

リサイクルビジネスのための

DX戦略講座

第4回

資源循環システムズ
マネージャー

小野寺 陽

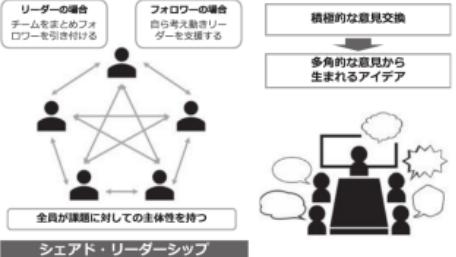
DX推進に経営者の強いリーダーシップが求められるとは言うまでもないが、VUCA（Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性））と呼ばれる時代においては、短期的なトライ＆エラーへの迅速な対応が定めた戦略を実行する各部門が細分化された体制の中、担当者が受け身の姿勢に陥ればプロジェクトとしての柔軟性や拡張性を確保することができない。だからこそ、DXを運用する組織マネジメントを用いて、柔軟かつ適応性の高い組織としての柔軟性や拡張性を確保することができる。そのため、全員がリーダーとして自らの活動に専念する形で、社内の組織構造は従来の機能的・階層的組織から、より柔軟な組織へと変化する。そのため、組織内に生じる多様な価値観や考え方がある中で、最大限の活用を図るために、各部門が自らの責任を持ち、意思疎通を図りながら、お互いにリードし合って、自らの問題を解決していく。これが、これから時代における組織マネジメントの第一歩ではないだろうか。

「組織マネジメント」について

導入求められるシェアド・リーダーシップ

事業の創出や業務の変革等の目的はさまざまですが、その実現のためには強力なプロジェクトチームの編成・組織マネジメントの素質の向上を通じて組織が必要となる。シェアド・リーダーシップとは、複数のメンバーが互いに影響を与えることで期待できる

「VUCA時代」に対応する組織マネジメントの在り方



企業や組織により、新規開拓や技術革新など、多面的に展開している。

企業や組織により、新規開拓や技術革新など、多面的に展開している。

企業や組織により、新規開拓や技術革新など、多面的に展開している。

企業や組織により、新規開拓や技術革新など、多面的に展開している。

企業や組織により、新規開拓や技術革新など、多面的に展開している。

企業や組織により、新規開拓や技術革新など、多面的に展開している。